

第72号		発行
平成30年 6月 発行		国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所

H30年度の体験植樹が始まりました

足尾砂防出張所で受け付けている体験植樹が、今年度も始まりました。植樹場所は、日光市足尾町松木地区にある国土交通省の砂防事業実施エリアです。

体験植樹は、主に小中学生を対象として、足尾の自然や歴史と砂防事業の意義を学び、自然の大切さや砂防事業の必要性を理解していただく環境学習の一環として行っています。

体験植樹初日（5/17）には葛飾区末広小学校から今回初めて参加されました。長旅の中ですが、みんな元気よくヤマボウシの木6本を約1時間かけて植樹し、児童達からは「この足尾の山がいつ元通りの山になるのか」と質問があるなど、足尾の山に対する関心も深まった模様です。



①まずは体験植樹の前に砂防事業の大切さや足尾の歴史について聞き、今回の植樹の目的を学習します



②次に班毎にみんなで穴を掘り、肥料をたっぷりと入れた土にヤマボウシの苗を植えます



③植えたヤマボウシの苗が倒れないように杭を打ち、苗木を固定します



④最後に鹿よけのネットをつければ完成！

「足尾に緑を育てる会」秋野新会長インタビュー



今年の3月よりNPO法人「足尾に緑を育てる会」の新会長として秋野峯徳前副会長が就任し、今年度も精力的に松木地区の体験植樹の運営を行っております。

そこで、会発足当時から23年間植樹に携わられてきた秋野新会長に今後の抱負やこれまでの活動を経た思いを伺いました。

(写真は「春の植樹デー」で植樹方法を参加者に教える秋野新会長)

●新会長としての抱負を教えてください

秋野会長: まずは何事も安全第一ですね。これからは高所での体験植樹も増えるため、参加者がケガをすることのないように注視していきたいと思います。

●近年、植樹参加者の状況など変化はありますか

秋野会長: 活動が口コミなどで広まり、初めて参加する学校が増加してきました。

●足尾に緑が増えてきた実感は

秋野会長: 6月を過ぎ新緑の季節になると、一面緑の景観が見えてくるようになりましたね。

●やりがいや今後の活動に向けて一言お願いします

秋野会長: 今のところ健康ですので、体が続く限り山と戦っていこうと思います。また、若い人にもバトンタッチできるように指導をしていきたい。辛いこともあるけれども楽しい活動です。

●ありがとうございました。



今年度も「足尾に緑を育てる会」一同頑張ります！

今月の「松イチⅡ」（第五回）

「松イチ」とは、銅親水公園から松木川上流約2.5kmに位置する「松木川一号砂防堰堤」のことです。昭和38年に完成したコンクリート砂防堰堤ですが、上流からの土砂流出によるコンクリート表面の劣化や東日本大震災による耐震基準の見直しの結果、補強対策が必要となったため、昨年度から補強工事を実施しています。

本コーナーでは現場の状況を写真等でご紹介していきます。



▲堤体の下流では10m以上の足場、上流では大型クレーンで資材の吊り上げ。さながら川の中でマンション建設の様？【5月15日】



▲足場の上では、ボーリングマシーンにより二段ある内の下段のグラウンドアンカーを施工中です。【5月15日】

H29久蔵口山腹基礎工事



▲足尾砂防堰堤ゲート奥が施工区域ですが、この工事ではゲート手前より出発し、487mものモノレールを設置します。作業員の現場までの通勤手段として使用しますが、現場へ辿り着くにもこのように過酷なのです。【5月21日】

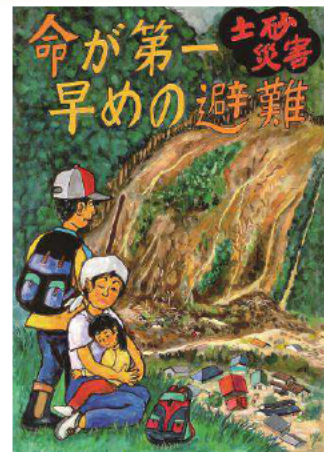


▲写真左手擁壁の向こう側が現場です。この屋根付きの仮設構造物は、上空を資材運搬用のケーブルクレーンが運転され、万が一資材等が落下し、車両等が損傷しないように防護の為に設置されたものです。【5月17日】

土砂災害防止月間(6月1日～6月30日)を実施します ～みんなで防ごう土砂災害～

地球温暖化に伴う気候変動により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。国土交通省及び都道府県では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止のために全国統一防災訓練や全国の集いなどさまざまな取り組みを実施しています。

皆さん、「自助／共助／公助」という言葉をご存知でしょうか？行政では、災害から地域の皆さんの生命・財産を守るための事業を日々行っています。防災対策・災害対応を考えるうえで「自助／共助／公助」という考え方がありますが、共助や公助にも限界があります。まず、自らがその生命や財産を守ることが何よりも大切です。この機会に、お住まいの地域の避難場所の確認や防災グッズの備えなど、もしもの時は【自分の命は自分で守る】ことを考えてみてはいかがでしょうか。



平成30年 全国の土砂災害発生状況(4月30日時点)

国土交通省

土砂災害発生件数

112件

土石流等：11件

地すべり：28件

がけ崩れ：73件

【被害状況】

人的被害：死者 6名

人家被害：全壊 4戸

一部損壊7戸

2/28

鹿児島県奄美市名瀬長浜

がけ崩れ



4/11

大分県中津市耶馬溪町

がけ崩れ



4/22

静岡県藤枝市岡部町

地すべり



3/2

山形県天童市原町

地すべり



3/10

新潟県妙高市長沢

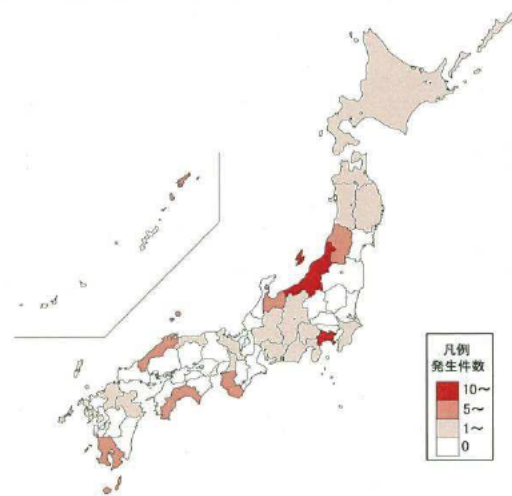
土石流等



4/7

富山県南砺市利賀村

土石流等



【足尾砂防出張所管内における現在施工中の工事】

※H30.5.23時点の情報です。

No.	工事名	施工場所	工期	施工業者
1	H29松木川一号砂防堰堤改築工事	松木	H29.11.18 ～ H32.3.27	(株)浜屋組
2	H29久蔵口山腹基礎工事	久蔵	H30.4.1 ～ H31.1.31	中村土建(株)

《 工事関係車両の通行等により、ご迷惑をおかけしますがご協力お願い致します。 》

発行：国土交通省 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所

〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17

Tel 0288-93-2151 fax 0288-93-4087

渡良瀬川河川事務所ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

